2020年7月14日

　RID2790グループ再編成について

（2021年7月1日施行）

2020-21年度RID2790

ガバナー漆原　摂子

A．RID2790グループ再編成について

　　　１．RID2790のグループ(G)を2021年7月1日施行で添付―１の通り

再編成する。

新グループの概要

a)　グループあたりクラブ数

　　　　　　７~11（７クラブｘ３G、８クラブｘ５G、10クラブｘ１Ｇ、

11クラブｘ１Ｇ）

b)　グラープあたり会員数

　　　　194名~358名：

100名台＝１グループ　　：194名

　　　　　　　　　　200~250名＝２グループ：220、及び239名

　　　　　251~300名＝３グループ：253、274、及び279

　　　　301名以上＝４グループ：328、338、341、及び358名

　　　２．背景、及び理由

　　　　　a)　当地区会員数が減少すると共に、グループ間でクラブ・会員数に大きな格差がある現状に鑑み、数年前より、地区戦略計画

委員会を中心に地区グループ再編成が検討されてきた。

b)　2019－20年諸岡DG年度に、「グループ再編会議（議長青木

貞雄PDG」が地区戦略計画委員会管轄下に設置され、検討を

行った結果の再編成案が、本年6月27日開催の地区戦略計画

委員会において2021年7月１日施行で採択されると共に、

7月４日開催の地区諮問委員会で了承された。

c)　当地区会員・クラブ・グループ等に関する現状は以下の通り。

　　1)　7月末会員数（毎年6月末に大量の退会者が出るが、企業

の人事異動等に伴う後任者が7月中に入会するため、

7月末会員数を基準とした）は、1997年の4,337名が過去

最多であったが、その後減少に転じ、2019年は2,824名で

最多時の約65％。

2)　クラブ数は、2000年の85（当時の会員数は3,935名）が

最高で、2019年は82クラブと最高時の約96%。

尚、グループ（当時は分区）数は、2000年に現在と同じ

14となった。

3)　以上の結果、

①　グループ（分区）あたり平均クラブ数は、最大時の7.2

（1991年10分区）から現在は5.9（2016年以降14グ

ループ／分区）に縮小。

②　グループ（分区）あたり平均会員数は、1999年まで

300名超であったが、現在（2010年以降）は約200名。

③　クラブあたり平均会員数は、1999年まで50名超で

　　あったが、現在（2007年以降）は30名台半ば。

d)　グループあたりクラブ数、及び会員数の格差

　　1)　クラブ数：４~８（４クラブｘ２、５クラブｘ２、

　　　　　　　　　６クラブｘ６、７クラブｘ３、８クラブｘ１）

　　2)　会員数　：116名~333名（100名台ｘ７G、

200名台ｘ６G、300名台ｘ１G）

３．日本の他地区におけるグループ再編成の現状

　　　　a)　グループ数縮小

　　　　　　1)　RID2590（川崎・横浜）：８G→７G（2018年7月施行）

　　　　　　　　理由：分区間クラブ数・会員数の格差是正。

2)　RID2620（静岡・山梨）：11G→８G（2018年7月施行）

　　　　理由：行政単位別グループ再構築。

3)　RID2640（大阪府南部・和歌山）：9G→８G（2017年7月

施行）

　　　　理由：地区内の問題でグループ再編成。

4)　RID2660（大阪府北部）：８G→６G（2018年7月施行）

　　　　理由：グループ間のクラブ数・会員数格差是正。

b)　グループ数・ガバナー補佐数の増加

　　　　1)　RID2580（東京北東部・沖縄）：ガバナー補佐６→12（

2018年7月施行）。

　　　　　　理由：ガバナー補佐管轄範囲軽減のため、6分区制を維持

するも、担当クラブが16ある３分区のガバナー補佐

を各3名体制に増員（実質12分区）。

　　　　2)　RID2650（福井・滋賀・京都・奈良）：分区を13→14（

　　　　　　2019年7月施行）

　　　　　　理由：96クラブ会員数4,550名（１分区あたりクラブ数は

8以下）。尚、複数の分区を６IMグループに取り纏め

て管理。

B．グループ再編成の目的・考え方

１．目的

　　グループ別クラブ数・会員数の格差是正（平準化）を通じ、ガバナー

　　補佐の担当範囲公平化によるクラブの指導・管理強化、及びグループ

　　間競争環境醸成を図り、依ってクラブの活動活性化を目指す。

２．グループ再編成にあたっての考え方

　　a)　現在の14グループを10グループに縮小する

　　　　1)　ロータリー章典17.030　DLP（District Leadership Plan）

　　　　　　は、ガバナー補佐の担当クラブ数を４~８とするよう推奨。

　　　　　　82クラブ÷８＝10.25グループ

　　　　2)　1989年の当地区（RID279）は、56クラブ会員数2,880名で

10分区。

b)　10グループ再編成にあたっての考え方

　　1)　グループあたりクラブ数８~９、会員数280名（2,824名÷

10≒280名）を基準とする。

2)　地区内クラブの一般的意向を勘案し、グループ再編成は、基

本を現グループの合体とし、既存グループの分割は最小限に

とどめる。

3)　グループあたり平均クラブ数・会員数確保に向けた現グルー

　　プ分割が必要な場合は、社会生活・経済圏、行政区域、

グループの地域面積及び交通の利便性、クラブの親子関係等

に配慮。

　　　　　　　　　　　　　　以　　上